

じゅぎょう
授業プラン

かんじ ぼけ がく にゅう もん
漢字の化学入門

(2023年5月版)

プラン作成

淀井 泉 (〈漢字の化学入門〉原案, 第一部)

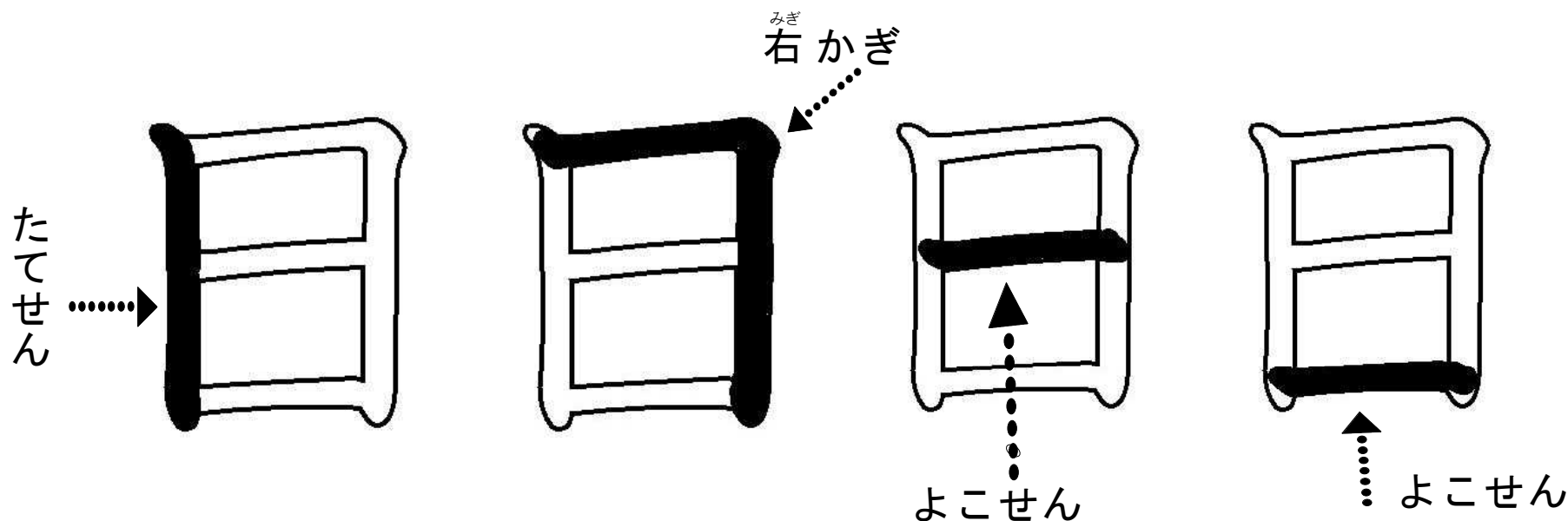
西岡明信 (第二部, 第三部)

西尾晴美 (デジタル版)

第1部 漢字と画

漢字をつくっている〈ひとつづき〉(一筆)の線や点のことを「画」と言います。

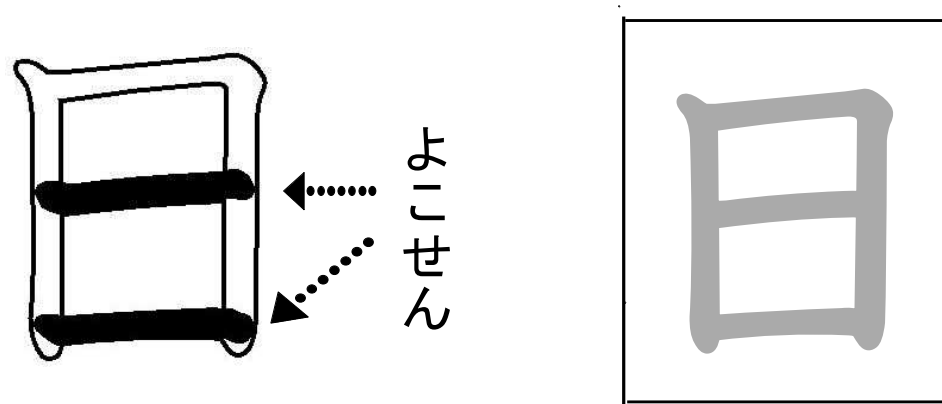
たとえば「日」という漢字は、下の図のように〈たてせん〉〈右かぎ〉〈よこせん〉〈よこせん〉という4つの「画」(4画)の組み合わせでできています。



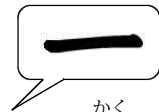
1. よこせん

【作業1】

「日」の〈よこせん〉のところをなぞってみましょう。



【質問1】

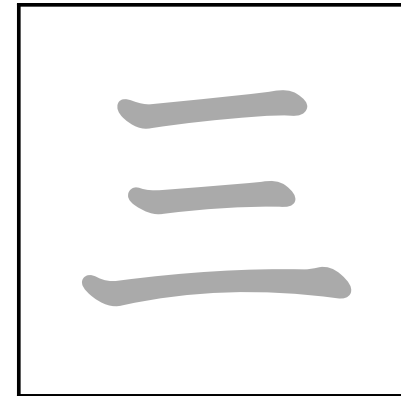
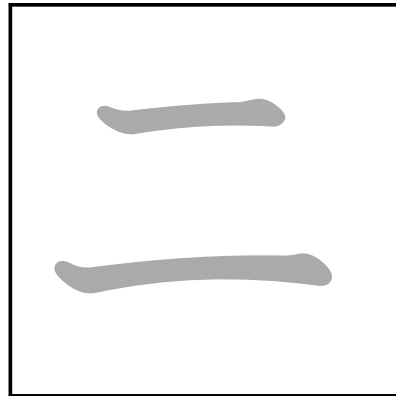
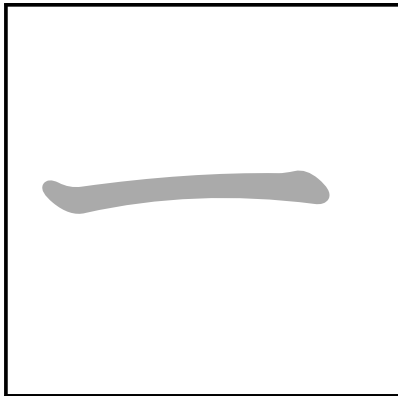


〈よこせん〉の画だけを組み合わせでできている漢字はあるでしょうか。

そんな漢字がうかんだ人はおしえてください。

〈よこせん〉の画^{かく}だけを組^くみ合^あわせてで^でできている漢^{かん}字^じは「二^に」と「三^{さん}」です。

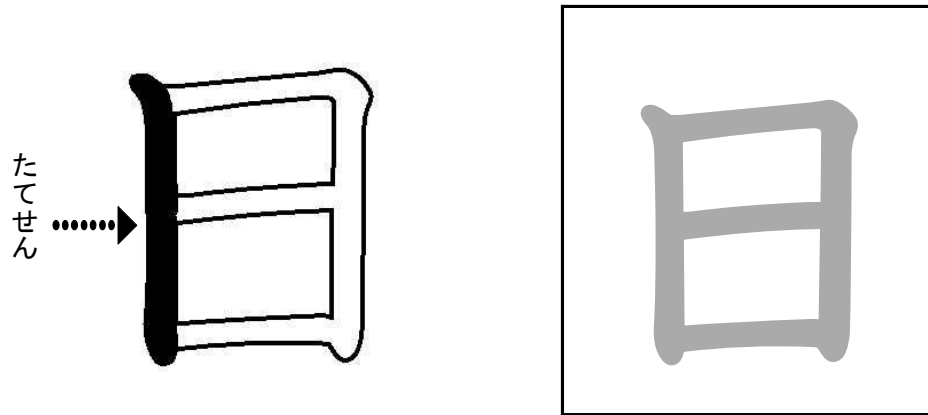
また、〈よこせん〉の画^{かく}だけでできている漢^{かん}字^じは「一^{いち}」です。



2. たてせん

【作業^{さぎょう}2】

「日」の〈たてせん〉のところをなぞってみましょう。



【質問^{しつもん}2】



それでは、〈よこせん〉と〈たてせん〉の画^{かく}だけを組^くみ合^あわせて
できている漢^{かんじ}字^じはあるでしょうか。

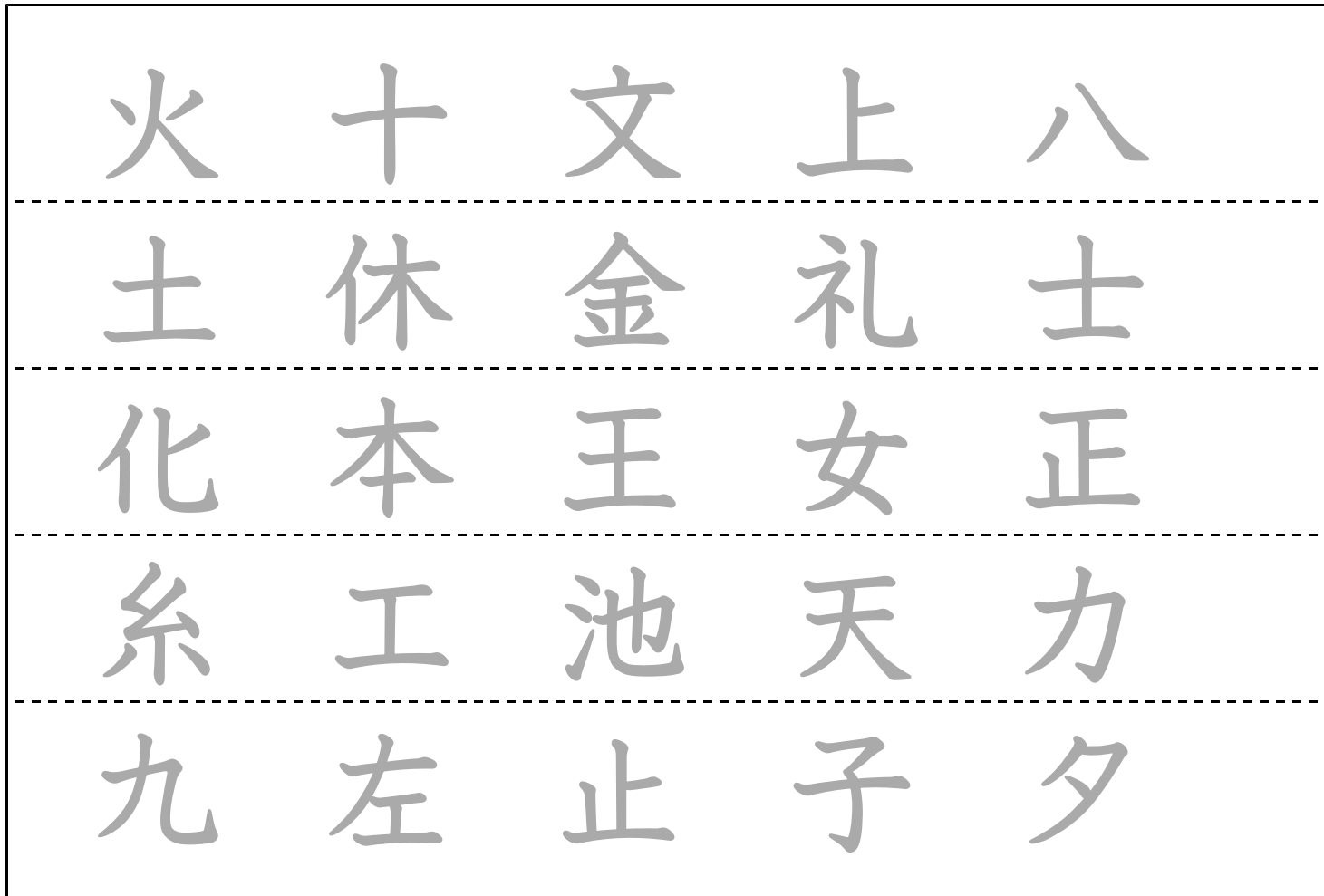
そんな漢^{かんじ}字^じがうかんだ人^{ひと}はおしえてください。

^{さぎょう}
【作業3】

〈よこせん〉と〈たてせん〉の画^{かく}だけを組^くみ合^あわせて
できている漢^{かん}字^じには、次のようなものがあります。

十，上，土，士
王，正，工，止

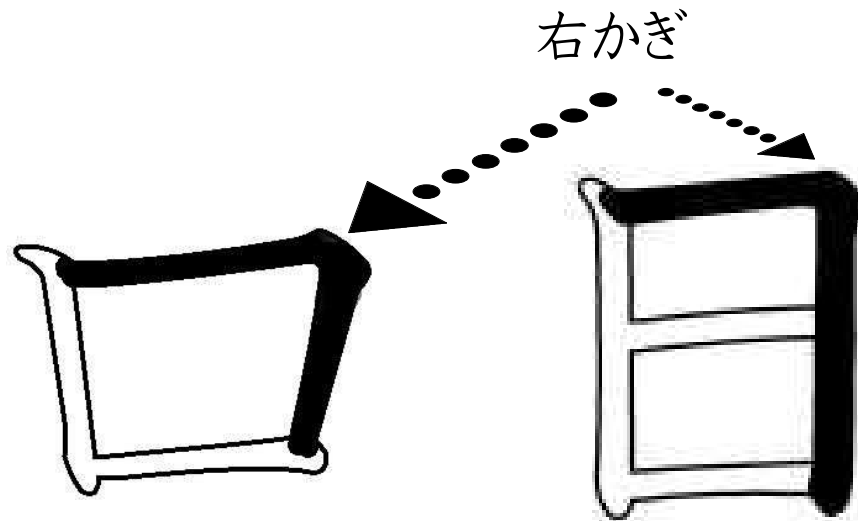
^{した} 次^{ひょう}の表からみつけて、○をつけましょう。



他にも「画」には、いろいろな種類があります。
「画」は、長い間 漢字を使っていくなかで、多くの人によって考え出されたものです。
今から、いろいろな「画」について学習しましょう。

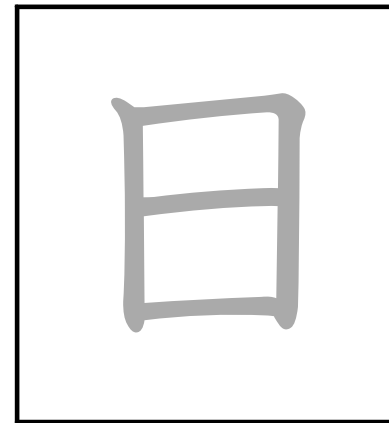
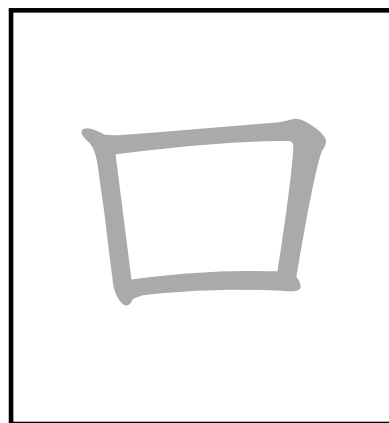
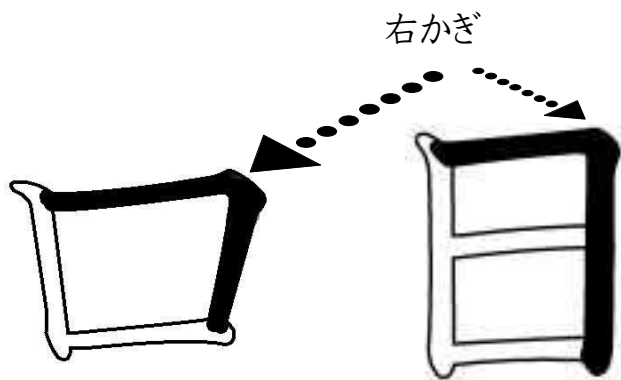
3. 右かぎ^{みぎ}

「口」や「日」という漢字^{かんじ}には、次のように〈右かぎ^{みぎ}〉という画^{かく}があります。「〈よこせん^{つづ}〉と〈たてせん^か〉を続けて書く^{つづ}」ので、この画^{かく}は〈よこせん^{つづ}〉でも〈たてせん^か〉でもなく、〈右かぎ^{みぎ}〉という名前^{なまえ}で呼ば^よれています。

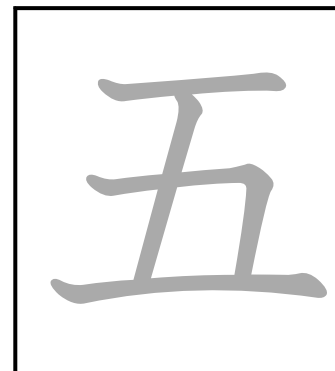
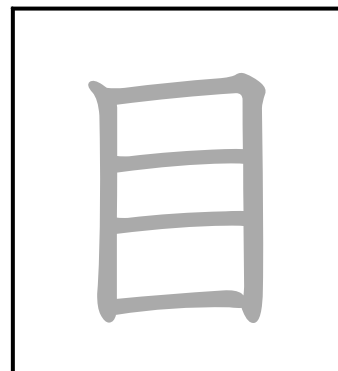
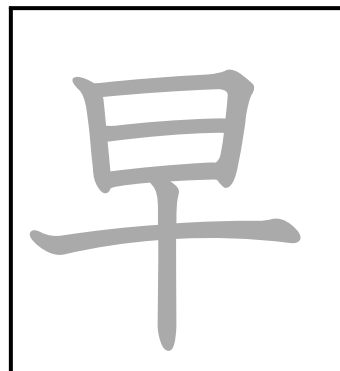
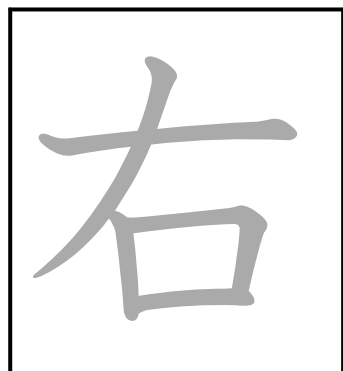


さぎょう
【作業4】

「口」や「日」の〈右かぎ〉のところをなぞってみましょう。

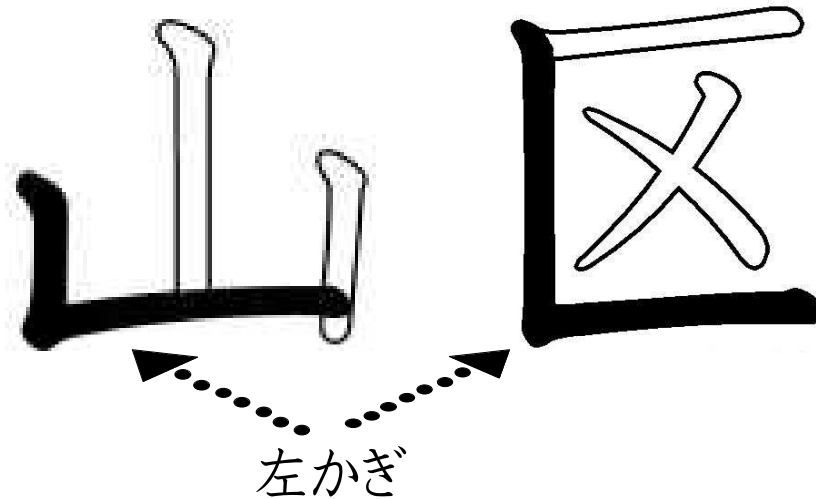


つぎ
次の4つの漢字のなかから〈右かぎ〉のところを見つけて
かんじ
なぞってみましょう。
みぎ
み



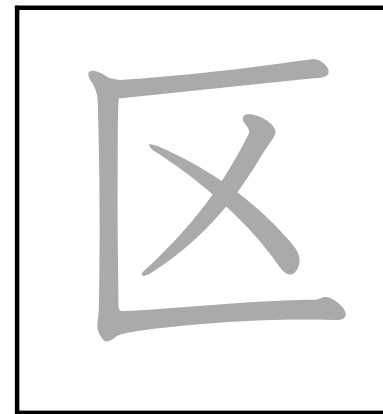
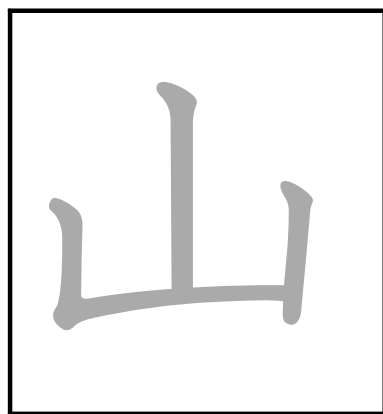
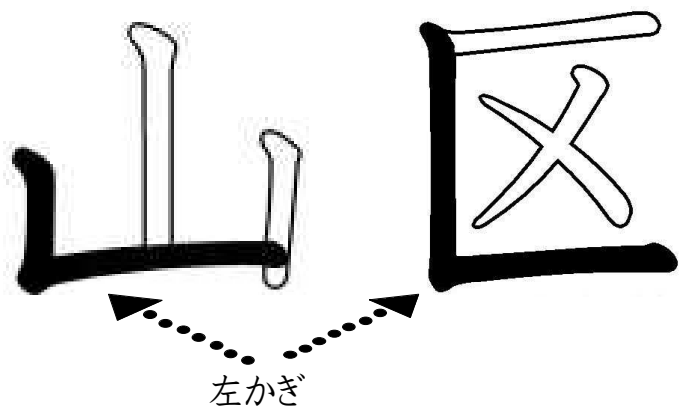
4. 左かぎ^{ひだり}

「山^{やま}」や「区^く」という漢字^{かんじ}には、次のように^{つぎ}く左かぎ^{ひだり}という画^{かく}があります。

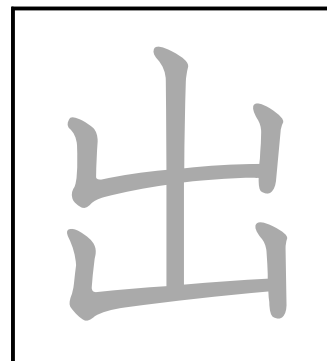
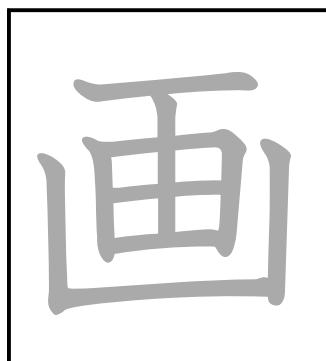
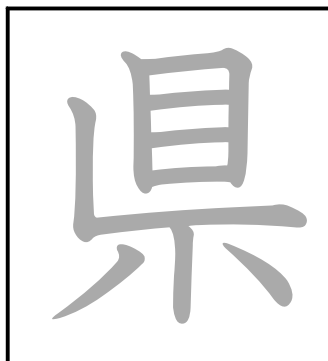
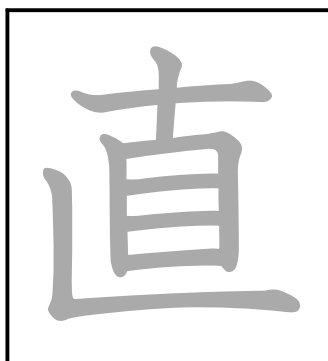


^{さぎょう}
【作業5】

「山」や「区」の^く左かぎ^{ひだり}の^{ところ}をなぞってみましょう。



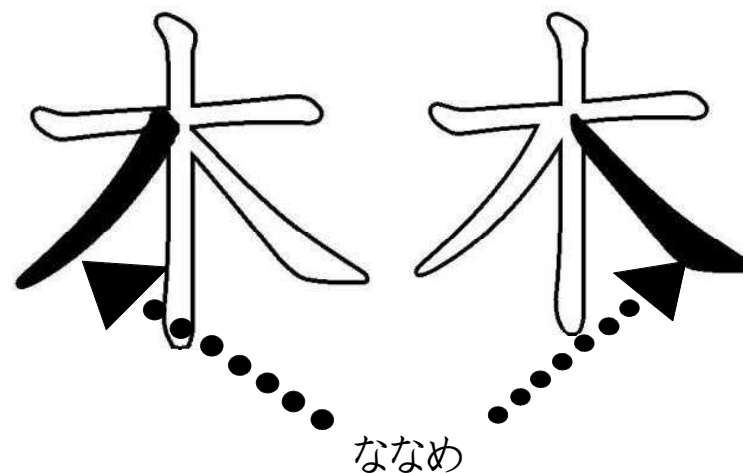
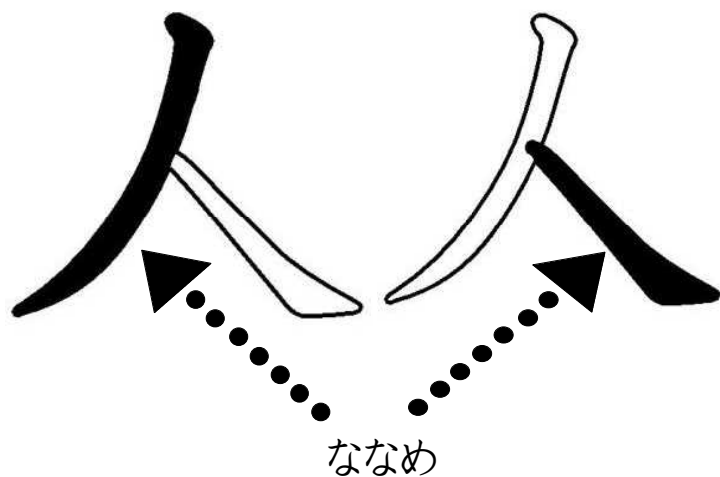
次の4つの漢字^{かんじ}のなかから^{つぎ}左かぎ^{ひだり}の^{ところ}を^み見つけて
なぞってみましょう。



(2つあります)

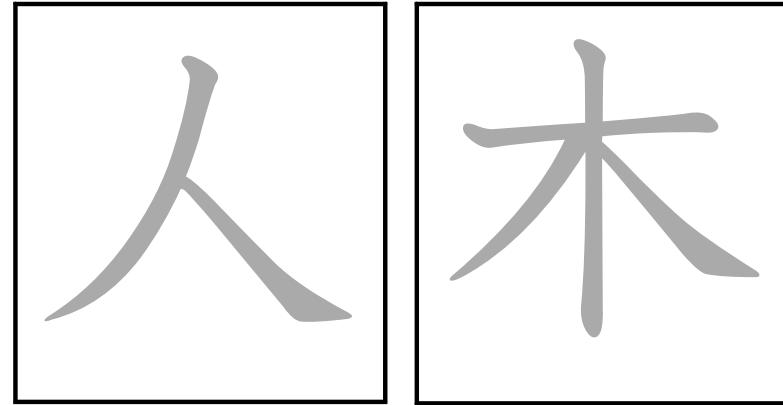
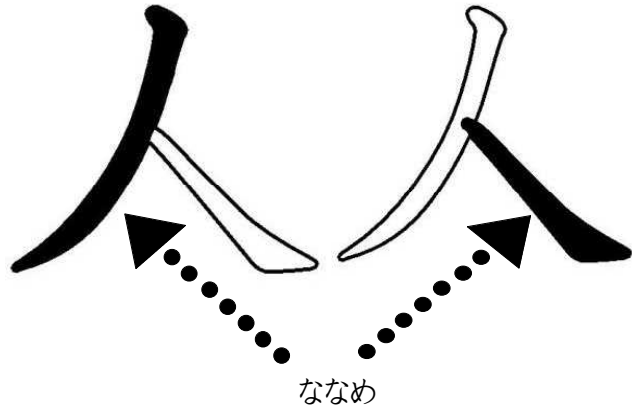
5. ななめ

「人」や「木」という漢字のなかには、次のように〈ななめ〉の画があります。

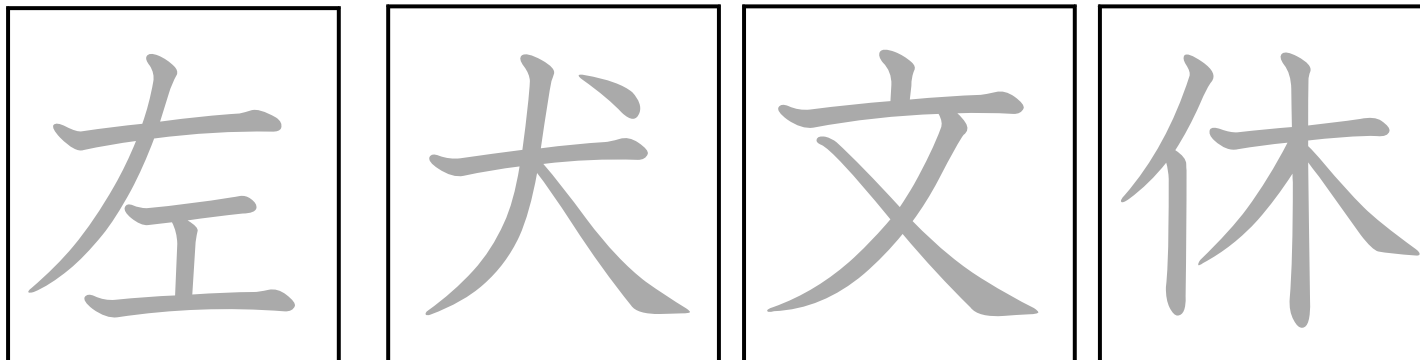


^{さぎょう}
【作業6】

「人」や「木」の〈ななめ〉のところをなぞってみましょう。

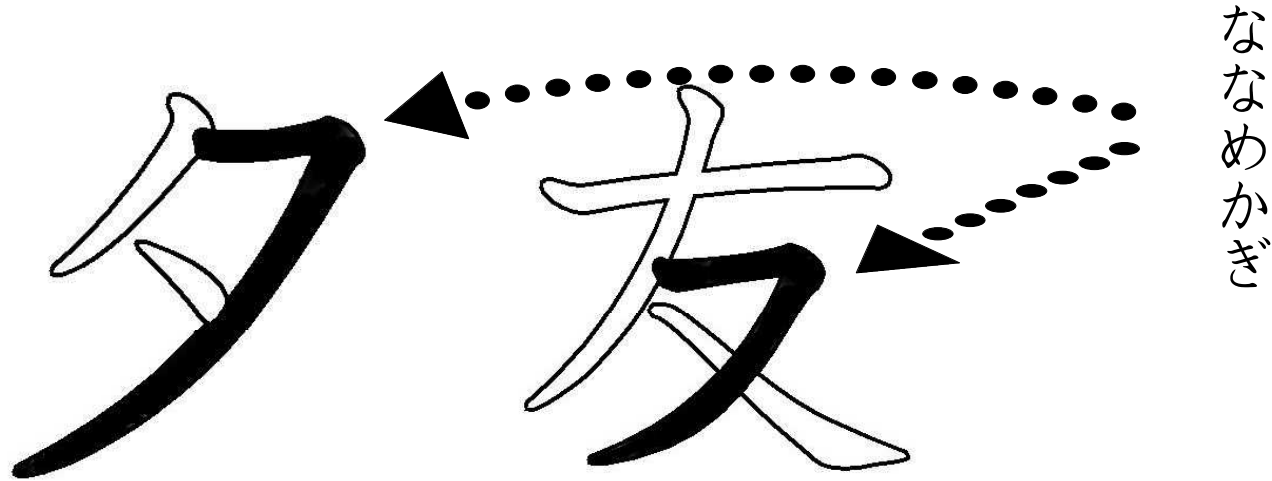


つぎ ^{かんじ} 次の4つの漢字のなかから〈ななめ〉のところを ^み 見つけて
なぞってみましょう。



6. ななめかぎ

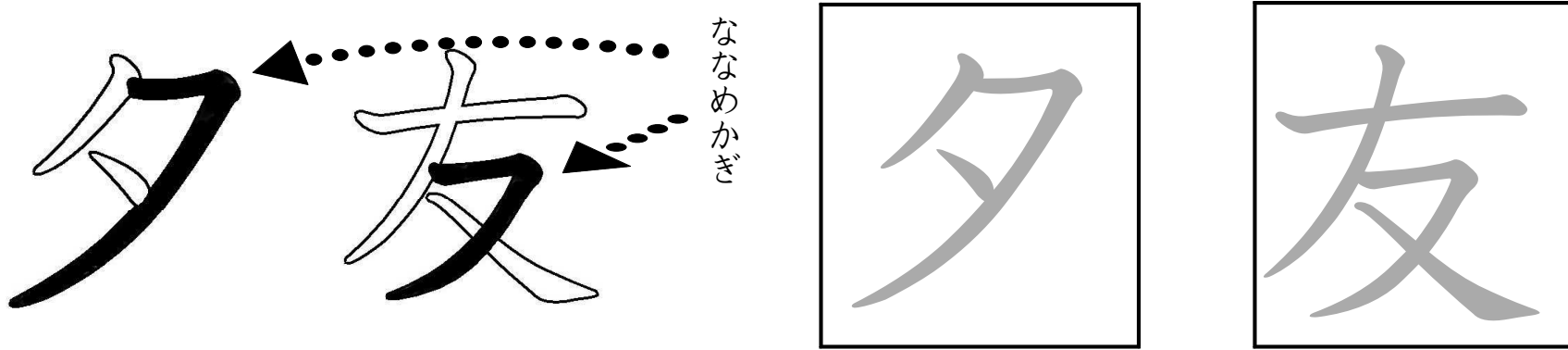
「^{ゆう}夕」と「^{とも}友」という漢字には、^{かんじ}次のように「^{つぎ}ななめかぎ」という^{かく}画があります。



さぎょう

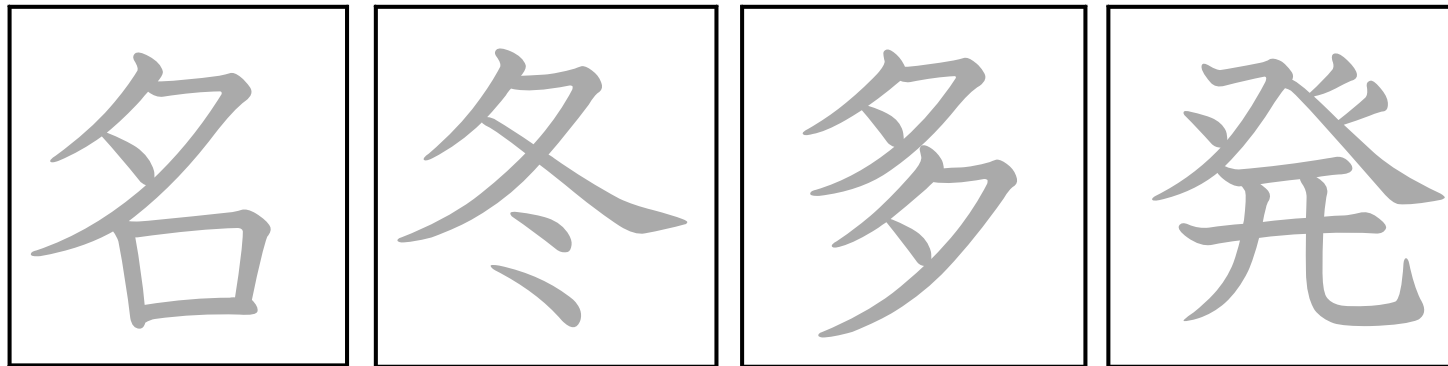
【作業7】

「夕」や「友」の〈ななめかぎ〉のところをなぞってみましょう。



ななめかぎ

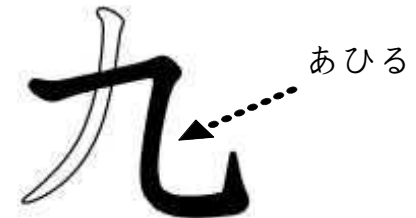
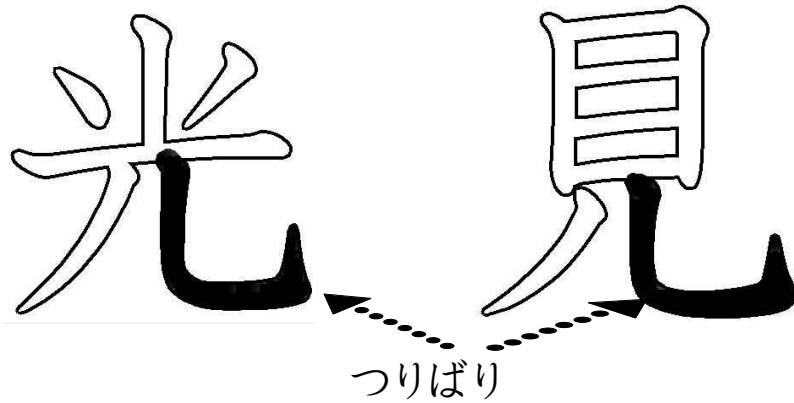
次の4つの漢字のなかから、〈ななめかぎ〉のところをみつけてなぞってみましょう。



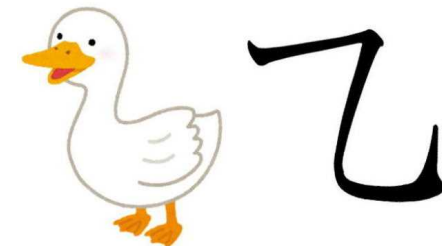
(2つあります)

7. つりばり

「^{ひかり}光」や「^{みる}見」という漢字には、次のように〈つりばり〉という^{かく}画があります。

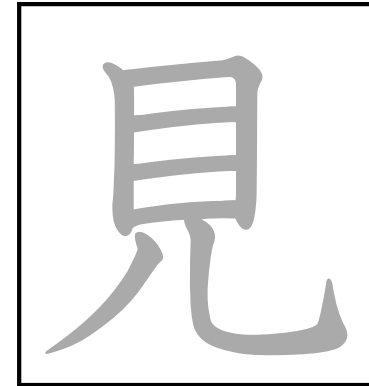
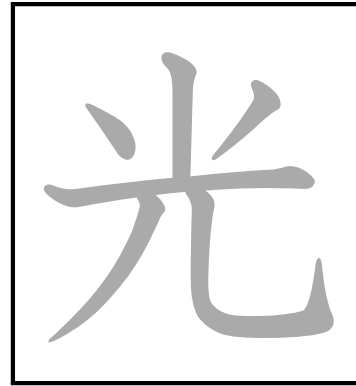
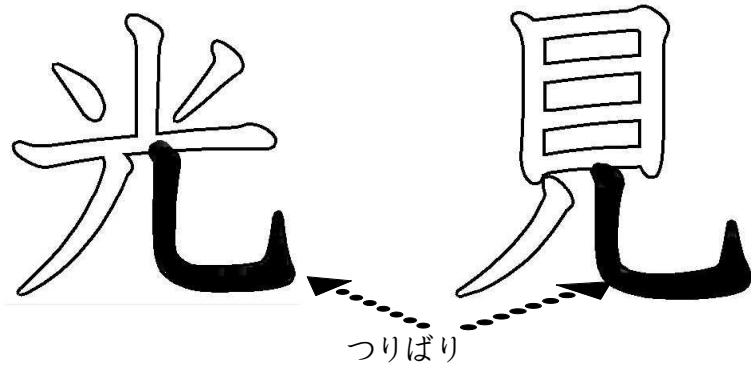


「^{かんじ}九」という漢字の2画目は、^{かくめ}〈つりばり〉と似ていますが、どこがちがうかわかりますか。このプリントでは、〈^{あひる}あひる〉とよんで、〈つりばり〉と区別することにします。^{どうぶつ}動物のアヒルの形にみえませんか？

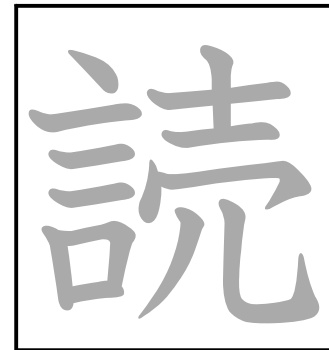
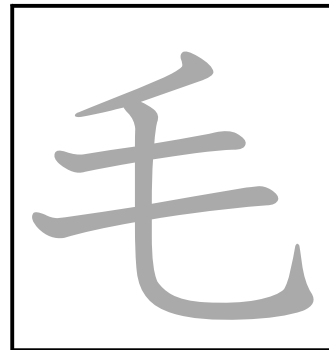
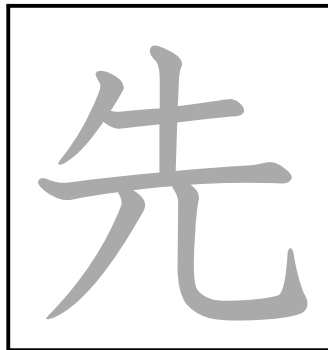
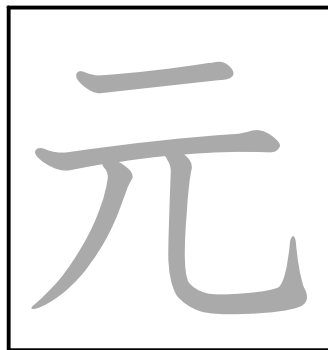


さぎょう
【作業8】

ひかり みる
「光」や「見」の〈つりばり〉のところをなぞってみましょう。



つぎ かんじ み
次の4つの漢字のなかから〈つりばり〉のところを見つけて
なぞってみましょう。



漢字と画のお話

今、日本で使われている漢字は何文字くらいあるのでしょうか。

100 文字？ 500 文字？ 1000 文字？ 1,0000 文字？

もっとたくさん？

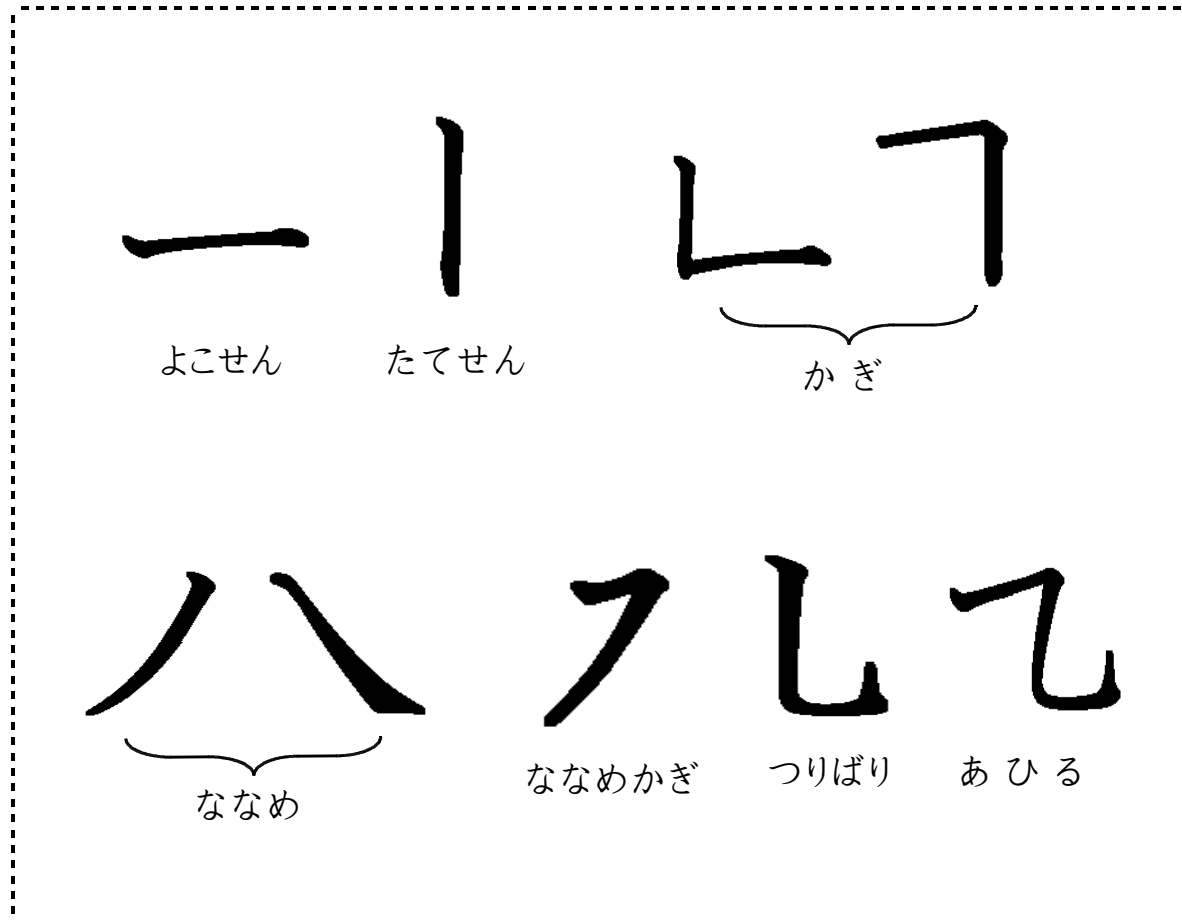


新聞や本など、日常生活でよく使われる漢字は、3000文字ほどあります。

さらに、日常生活ではあまり使われていない漢字もふくめると、漢字は 5,0000 文字以上あるともいわれています。

それでは、5,0000 ^{もじ}文字もあるといわれている ^{かんじ}漢字を
作っている「^{つく}画」は何種類くらいあると思いますか。

これまでの ^{がくしゅう}学習で ^で出てきた「^{かく}画」



漢字とくらべて「画」はうんと少ないです。

以下のように代表的な画を、わずか 11 のグループにまとめた人もいます。

① よこ ② たて ③ ななめ ④ かぎ ⑤ ななめかぎ ⑥ てん

一	丨	ノ	フ	フ	丶
一	丿	㇇	㇇	㇇	、
		㇇	フ		

⑦ てかぎ ⑧ つりばり ⑨ くのじ ⑩ あひる ⑪ かぎがさね

㇇	㇇	㇇	㇇	㇇
	㇇	㇇	㇇	㇇

1970 年代の中頃、科学教育者の板倉聖宣さんは、漢字のもとになっている画を「字素」と名付けました。

※「字素」という名前は、物質のもとである〈素粒子〉からきています。〈漢字のもと〉なので「字素」というわけです。

板倉さんは、「漢字のもとになる字素はいったいどれくらいあるのだろう」と、『漢和辞典』をつかって調べました。

下の表は、板倉さんが発表した「字素」で、全部で 37 種類あります。

ノ (河・持・羽)	ㄣ (川・帰・成)	ㄣ (礼・毛・兄)	ㄣ (及・吸・建)	丨 (中・十・斤)	丨 (亡・七・世)
一 (二・木・王)	ノ (竹・矢・学)	レ (民・衣・氏)	一 (耳・虫・非)	ノ (人・倉・少)	ㄣ (心・必・忘)
一 (延・進・走)	フ (口・田・弓)	ㄣ (糸・女・災)	一 (宀・欠・写)	一 (系・愛・化)	ㄣ (公・糸・広)
、 (刈・区・双)	フ (カ・馬・方)	ㄣ (呉・誤・娛)	ㄣ (入・倉・公)	ㄣ (岡・門・羽)	ㄣ (弓・与・巧)
ㄣ (手・猫・子)	フ (子・防・予)	乙 (乞・迄・乾)	ㄣ (戈・代・式)	ㄣ (卵・印・命)	乙 (九・風・飛)
丨 (木・下・日)	ㄣ (区・直・画)	ㄣ (凹・凸)	ㄣ (了・事・水)	フ (夕・発・又)	ㄣ (乃・秀)

、 、 、 (点のいろいろ——黒・鳥・貝・宇
六・犬・尽・飛・発・盡)

(『授業科学研究 第 8 集』(仮説社) 168 ペ)

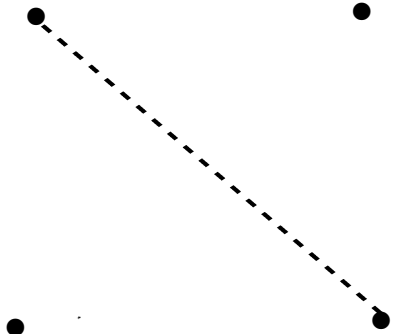
たったこれだけの「画」を組み合わせるだけで、5,0000 文字以上の漢字がつくれてしまうのです。

【研究問題】

次の漢字はどんな「画」からできているでしょうか。
あてはまるものを線をつないでみましょう。

(1)

正



(2)

化

(3)

文

(4)

山

(5)

辺

① たて	丨
② かぎ	└
③ たて	丨

① よこ	一
② たて	丨
③ よこ	一
④ たて	丨
⑤ よこ	一

① ななめ	ノ
② たて	丨
③ ななめ	ノ
④ つりばり	し

① かぎ	フ
② ななめ	ノ
③ てん	、
④ かぎがさね	マ
⑤ ななめ	ノ

① てん	、
② よこ	一
③ ななめ	ノ
④ ななめ	ノ

おまけのお話 ^{はなし} ~たくさんの画を使った漢字~

日常生活の中でよく使われている漢字の中で、一番たくさんの画を使っている漢字は「鬱」です。「鬱」という漢字は、29 個の画を組み合わせることができます。

しかし、日常生活であまり使われていない漢字なら、もっと多くの画からできている漢字はたくさんあります。

その一つに**邇**という漢字があります。「びゃん」と読み、中国の料理「ビャンビャン麺」(**邇邇**麺)という食べ物に使われている漢字です。

邇という漢字は 57 個の画が組み合わさってできています。とても複雑な漢字ですが、分解すると単純な画の組み合わせでできています。



ウィキペディア (ビャンビャン麺) より



尾形邦子さん作成の〈漢字の素粒子と原子〉（月刊『たのしい授業』1983年11月号「漢字の化学入門」初出）を、漢字をあまり知らない低学年や漢字が苦手な特別支援学級・学校の子どもたちにも、たのしく学んでもらいたいと願って作成したプラン（案）です。

第一部、第二部は〈漢字の素粒子と原子〉（尾形邦子・千葉）、第三部は〈かんじかくもん〉（森下知昭・群馬）の原案を元にして作成させていただきました。

書かなくても漢字の見方を学べる画期的なプランとして、少しずつ広がっています。

第1部「漢字と画」 第2部「漢字の分解」 第3部「漢字と部首」 という構成です。

今回は、第1部「漢字と画」のデジタル版を公開資料とします。

プランを見て、授業をしてみたい、続きを知りたい、ねらいなど詳しいことをもっと知りたいと思われた方は、以下（西尾 晴美）までお問い合わせください。

プランの最新版や資料をお送りいたします。

※〈漢字の化学入門〉についてのお問い合わせ

西尾 晴美 メールアドレス (nishio@kawatano.echo.jp)